

『振り返り』によって、経験を「学び」に変えることの意義

「振り返り」＝「自分の棚卸し」をする目的は、

- ① これまでの仕事人生&人生を振り返り、「過去の自分の行動や経験」を見つめ直す。
- ② 経験を「意味付け」して「経験値」（＝Experience Value）という「学び」に変換する。
- ③ 見えてきた「これから何をしたいのか／何をすべきか」を自分の言葉で「言語化」する。

BST
コメント

こうして、これまで培った経験を「経験値」という「学び」（＝無形資産）に変える。そして自分自身の経験から得た「学び」をこれからの仕事人生&人生に活かしていく。これは、『後半戦』を迎えるうえで必要な「通過儀式」（＝Passing Ceremony）です

多く人は、経験を経験したまま放置しておくため「学び」には繋がらない。——『振り返り』によって過去を見直さないで、同じようなミスや間違いを繰り返すことになる。こうして、“這い回る経験主義”（＝たくさん経験するが何も学べていない状態）という事態に陥ってしまう

BST
コメント

人は、経験を「経験値」という「学び」に変えて初めて、「これから自分は本当に何をしたいのか／何をすべきなのか」を「自分の言葉で語れる」（＝自分の言葉で言語化できる）ようになります。そもそも人は、「自分の言葉で言語化できたこと」しか自律的に行動できるようにはなりません

➔ 自律的に行動できるようになるためには、『後半戦』を始める前に、『振り返り』＝「自分の棚卸し」を行って経験を「学び」に変えておくことが必要なのです